

経営学部

国際経営学科

人材養成等教育研究に係る目的

経済・社会のグローバル化により、すでに海外進出をしている企業だけでなく国内市場を相手にしてきた企業も基本的な経営資源であるヒト・モノ・カネ・情報が国境を越えて移動することを前提にした経営を考える必要がある。世界の各地域には企業経営やビジネス慣行における独自性が残っているが、グローバル化の進展でそれらの標準化が急速に進んでおり、その動きを背景にして世界の経営学教育も日々進歩し標準化が進展している。またグローバル化の波はトランスナショナル企業を出現させ、国内においては生産の海外移転を加速させている。競争に耐えられない企業が整理される一方で、新たな成長の牽引役となる企業がイノベーションを生み出していくことが喫緊の課題となっている。

経営学部では国際経営学科に3つのコースを設けて専門性を高めると同時に世界標準で主要科目の学修を進めることで、グローバル化に主体的に取り組む実践力と情報発信できる英語コミュニケーション力を修得し、ビジネスを通して社会の要請に応え世界に貢献できる人材の養成を目指す。

経営学部 ディプロマ・ポリシー

経営学部では以下の能力を身につけている人に学位を授与する。

- ① 世界標準で専門知識を身につけ、応用する。【知識・理解】
- ② 多文化・異文化を有する国・地域との交流を通じて、個のアイデンティティを確立する。
【知識・理解】
- ③ グローバルなビジネスシーンで英語によりコミュニケーションを図る。【汎用的技能】
- ④ さまざまな情報を論理的・数理的に分析し、ビジネスシーンの意思決定に役立てる。
【汎用的技能】
- ⑤ グローバル社会で主体的に取り組むための実践力・発信力を獲得する。【態度・志向性】
- ⑥ 起業家精神とイノベーションを生み出す力を体験的に身につける。【態度・志向性】